

信長生誕「勝幡城」

しよばたじょう

第5号 平成27年4月20日発行

発行 特定非営利活動法人信長生誕を育む会

住所 〒496-8001

愛知県愛西市勝幡町塩畑 2525 番地

電話 080-8265-2288 (事務局)

織田信長の感性を育んだ自然

理事長 恒川鋭夫

冬がよく晴れた日、織田信長の生誕地「勝幡城」の近くの川の土手に立つと、見はるかす大濃尾平野の三方の彼方に、名だたる名山が雪を冠してひかり輝いているのが望見できる。南の方は海であるので、それ以外の三方を西の方、北の方、東の方と順番に見渡すと、まさにすべて名山ありである。

まず、西の方(正確に言えば西南)には、直線距離にして35kmの向こうに、標高1212mの御在所山がある。秋の紅葉は素晴らしく、山のふもとには、名湯・湯の山温泉がある。

養老山系の北端、くびれたあたりを過ぎると、直線距離にして40kmの向こうに伊吹山がある。標高1337mで、さして高くはない山ではあるが、ふもとから頂上までの高低差を見れば、日本有数の高山である。そのために冬の到来とともに、吹き降ろされるいわゆる「伊吹おろし」は、濃尾平野に厳しい冷え込みをもたらす。

さらに北の方へ眼を転ずると、直線距離にして110kmの向こうに、白山神社で名高い秀峰・白山がある。標高2702mである。名前のように、美しく神々しい山である。あまり知られていないようであるが、実はこの山は火山である。その証拠に、頂上付近に噴火の跡のくびれがあり、それはそれで納得の容姿となっている。よほどよく晴れた日にしか望見できないが、冠雪した白山を眺められるときは、うれしく、清々しい気分になる。

真北より東にやや寄ったあたり、直線距離にして100kmの向こうに、名峰・御嶽がある。標高3067mである。どっしりとした風格を備えた山容である。御嶽信仰の本山であり、神の山である。これも火山で、しかも活火山である。北側のふもとには秘湯と言われる濁河温泉が湧出している。

東の方には、直線距離にして80kmの向こうに恵那山がある。標高2191mである。この山は、まさに穏やかな優しい山容で、伊吹山と同じくらいの高さに思われるが、恵那山の方がはるかに高い山である。中央アルプスの最南端に位置する恵那山のやや南方奥には、遠く南アルプスの連峰が望まれる。かなり遠方ではあるが、富士山に次ぐ標高3000mを越す山々であるがゆえに、それらの頂上近くの部分が望見できて、うれしい。



勝幡城址近くから西方・養老山脈を望む

このように私の故郷、勝幡の地からは、今でも数々の山々を望むことができるのであり、思い起こせば、建物、構造物のほとんどなかった戦国末期においては、大濃尾平野の三方、彼方に、まさに素晴らしい山々の大パノラマが展開していたと考えられる。関東平野に次ぐ広大な濃尾平野、そしてそれを取り巻くようにして従える名山の数々。

戦国の覇者、織田信長の何物にもとらわれない自由な、しなやかな発想、伊吹おろしによって鍛えられた堅忍不拔の精神力、さらに深掘りすれば、信仰の山々から受ける霊性。

天文3年5月28日、ここ、「勝幡城」で呱呱の声を上げた、不世出の英雄、織田信長の感性を育むのに、あずかって力のあったのは、この地の自然の卓越性にあつたとする愚説を、敢て展開して、筆を擱く。

楽しく町おこしをしよう！

水谷真人

当会の定款にはこんな条文がある。

「第3条 この法人は、「おおうつけ」と言われた織田信長の不屈の精神を胸に、歴史・自然・経済・福祉を総合的に取り入れた、まったく新しい「まちづくり(環境文化都市)」を提唱するとともに、信長生誕の地である勝幡城の復元事業に取り組むことを目的とする。」

壮大な目的であり、実現できれば素晴らしいことである。しかし、大き過ぎるからか、会の中では十分な議論がされていないし、関係する地域や行政との意見交換もしていない。この会報の第3号の「信長生誕勝幡城と町おこし」には、結論として次のように書いた。

「信長生誕勝幡城は素晴らしい史実である。これが史実で終わるか、町おこしの資源となるかは、地元の熱意と顧客ニーズの充足にかかっている。本法人の役割は、そのお手伝いであろうか。」

一口に「町づくり、町おこし」と言っても、その期待度は様々である。まず史実を知ってもらい、注目を集めることがスタートの条件だ。それによって、「人のにぎわい」、さらに「経済的効果」がもたらされ、その結果、「地域の活性化」につながる。

そのためには、多くのことをしなければならぬ。

町おこしで陥りやすい落とし穴と、楽しく町おこしをする方法を思いつくまま書いてみよう。

1. 町おこしにおける落とし穴

① 二番煎じではインパクトがない

何か新しいことをしようとする場合、先進地の視察から始まることが多い。参考にするだけならよいだろうが、知らず知らずのうちに、物まね、二番煎じに陥りやすい。ことわざ通り、二匹目のどじょうは、そうはいない。

それと、その道に精通したと言われる人の意見に頼りすぎることも問題だ。過去の成功体験のコピーになりやすいし、地元に対する認識が十分でないと、大きな夢だけが独り歩きする恐れがある。

愛西市のゆるキャラ、「あいさいさん」を例にしよう。公募採用案の作者は東京のイラストレーター

と聞いた。地元の特産のれんこんを題材にして、審査員の心理を見事に見抜いた結果であろう。しかし、愛嬌抜群の「ひこにゃん」、軽妙な話ができる「ふなっしー」、ちょっと気味悪い「オカザえもん」のような特徴がない。かつて坂東英二はこう言った。「あいさいしとはいいですね。愛妻家ばかりで、きっと女性が幸せな町なんでしょう」と。そう、まさにこれが愛西市の最大の売り物ではないか。こんな遊び心があってもいい。愛妻と考えれば、個性のある様々なことができるのではないか。

② ハコモノだけでは飽きが来る

人が何かをする場合、目に見える形にするのが解りやすい。町おこしでいえば、いわゆるハコモノである。しかし、それだけでは一度見れば終わりである。

大事なことは、何度訪れても新たな発見があるとか、地元の人との人間的なつながりができることである。

つい最近名古屋の客と一緒に、愛西市立田地区にある「蓮根の里 はすの実」という、民家を利用した食事処に行った。大阪で鍛えたという息子さんの野菜やもろこすしなどの田舎風料理は美味しかったが、それ以上にお母さんの食材や地元の風習などの軽妙な説明が印象に残る。よくある民話の語り部や史跡のガイドボランティアもいいが、こうした現在の日常的な話が魅力的で、また行ってみたいくなる要素だと思う。

③ 自己陶醉は顧客ニーズとのミスマッチを生む

「戦国の武将・織田信長は勝幡城で生まれた」という史実は、地元にとっては大変な資産である。しかし、史実は一行の説明があれば理解できてしまう。町おこしで大事なことは、現地に来ていただくことである。歴史好きな人であれば、どんなところかと一度は訪れてみたいはなるであろうが、それだけでは十分ではない。現地に行けばこんなことが確認できそうとか、幼少の信長の感性を育んだであろう環境や食べ物が体験できるとかの期待が持てることが必要であろう。もう一度来てみたいなる魅力が欲しい。

こんなお客さまのニーズを考えると、愛西市が設置した勝幡駅前の「信長親子像、信長モザイク

画、勝幡城模型」に解説がないのは理解し難い。せつかく何かを期待して足を運んで頂いたお客さまに、現地ならではの情報発信のチャンスを放棄し、貴重な史実を有する地元の責任も果たしていない。

④組織の壁、意識の壁があっては動かない

先日、信長が世に名を挙げた桶狭間の戦いの地で活動する「とよあけ桶狭間ガイドボランティア」の皆さんを、勝幡城址付近にご案内する機会があった。勝幡城址の碑から日光川の堤防に上がったら、満々と水を湛える日光川とその向こうの養老山脈を見て、素晴らしい景色ですねと感心された。同時に、愛西市側にある勝幡城址までの道路の案内表示が、稲沢市側では見られないことを不思議がられた。遠来の客は信長生誕の勝幡城界隈を見に来ているのであって、現在の行政区画には関心はない。こうした不整合は、お客さまを迎える姿勢としては良くないことだ。

お客さまが素晴らしいと思うことは、お客様の視点から見ないと分からない。単独の見どころでは力不足でも、組織や意識の壁を取り払って、いくつかをコラボさせることで、当地固有の魅力となるはずだ。これが一番大事なことだと思う。



2月19日 勝幡城址にて「とよあけ桶狭間ガイドボランティア」の皆さんと

2. 楽しく町おこしをしよう！

①「よそもの」の目を活かす

先ほどの日光川の景色のように、地元の人では分からないことも多い。新鮮な目で見られるのは、いわゆる「よそもの」の目だ。その土地の特徴

をつかみ、顧客のニーズに合わせて的を絞るには、新鮮なよそものの目が必要だ。

②「若ものの行動力」を活かす

いまは情報の時代である。広く情報を収集し、正しい情報を共有し、効率的に動かなければならない。世間の耳目を引き付けるためには、魅力的な情報発信も不可欠だ。そんな情報空間に慣れた若者の行動力が必要だ。

③「バカもの」の情熱を活かす

「まつり男、まつり女」という言葉がある。まつりに並々ならぬ情熱を持つつつけのものであろう。

町おこしにはこんな人たちの力が必要だ。

誰かに聞いた話である。日本には「弘法大師の～」という弘法大師の名前を冠した名所やお菓子がたくさんある。理由は、弘法大師が布教の旅で世話になった村人へのお礼に、「自分の名前をどんどん利用して、お金を儲けて、幸せな暮らしを築いて欲しい」と話されたからだという。

いま信長公にお会いして話をすれば、同じことを言われるかもしれない。「これ、勝幡城下の者ども。小さなことにこだわりおって。楽市楽座を見習え。もっと大きな夢を持て。わしの志は天下の統一じゃった。お前らも、力を合わせて頑張りや～せよ」、と。

信長生誕勝幡城の史実に加えて、さらに人を引き付ける何かがあるとよい。その何かは、形があるものである必要はない。例えば、愛西→愛妻→愛妻自慢大会を開催し、四方を高い堤防で囲まれた福原輪中のだ真ん中で、奥さんに大声でお礼を言うなどと、連想を働かせていけば面白いイベントができるかもしれない。妻をねぎらう田舎のんびりツアーコースを設定して、ゆったり水郷風景を見て、特産食材の料理を楽しみ、津島神社や荻須美術館で文化に触れ、最後に新鮮な農産物をお土産にするのもよい。

稲沢市は日本有数の植木の産地と言っているだけでなく、それを使った生垣や庭の美しい街並みコンテストをすれば、少しは需要喚起につながるかもしれない。信長は名古屋弁を話したか、鰻と鮎のどちらが好きだったか、なんて奇想天外な討論会も面白いだろう。

れんこんは、孔を通して先を見通せる縁起の良い食材だ。「もしあの時、れんこんが近くにあったら、私の人生は変わっていただろうな～」、なんて論文募集があれば、誰もが応募できそうだ。

単独では力不足でも、こうしていくつかを結合・コラボさせれば非常に話題性に富んだことができるはずだ。きっとマスコミの注目も集まるはずだ。

問題は、この地域が一緒になって、楽しい一日

を過ごせる企画を作り、広報できるかだ。今の自治体の枠内だけでは、いかにも物足りない。勝幡城を核としたこの地域が知恵を出し合い、活動したい。考えたり、話し合ったりすることは楽しいことだ。町おこしは、住民のそんな活動から始まる。

さあ、先入観を捨て、年齢を忘れ、みんなと一緒にはしゃいでみよう。町おこしにはあなたも参加し、楽しくやらなくっちゃ～。

++++
++++

++++
++++

信長 町おこし商品

信長の名を冠した地元の商品を集めました。一度は味わい、話題の種にしてください。（事務局）

ガレット「信長かぶと」 550 円

津島興業(株)「フォーシーズン」 0567-28-1100

◆信長との関連、アピール点

ピアゴ勝幡店のフードコートにある、クレープ、ガレット、タピオカドリンクのお店「フォーシーズン」では、津島商工会議所の町おこしのための「信長スイーツ」の募集を新聞で読み、「信長かぶと」という、そば生地のクレープ「ガレット」を創作し、出店応募致し、「信長スイーツ」に認定されました。

- ① 長野県産そば粉 100%であるため、そばの香りが高く、食感もパリッと焼き上げています。
- ② 信長ゆかりの食材「抹茶ソース」、「抹茶の粉」、「小豆あん」、「クルミ」、「きな粉」、「黒蜜」をたっぷりかけ、バナナ、パイナップル、イチゴ、抹茶アイスクリーム、生クリーム等、古代、現代の食材をふんだんに使用したボリューム満点のお菓子です。
- ③ 「ガレット」のお店は名古屋地方でも大変珍しく、「ガレットファン」の方たちに大変好評で、リピーター客も多いです。

◆製作、販売の苦心談など

ガレット生地を丸く焼いた後、兜の形を作るには、



生地をカットして丸めるため、焼き方にも工夫が必要です。

12 種類の食材を用いて飾り付けるため、非常に手間のかかる作業ですが、それは見事な兜に仕上がり、お客様にご満足いただいております。

のぶながふところ餅

河村屋菓子舗 0567-28-0925

◆信長との関連、アピール点

地元産蓮根を使用しています。

信長の時代、保存食及び戦に出る時、ふところに忍ばせたであろう。

黒糖・蓮根を使用し、作り上げた羽二重餅です。

◆製作、販売の苦心談など

羽二重餅と蓮根のバランス

蓮根のあく抜き

パッケージのデザインやネーミング



信長プリン

346 円

パティシエ KUROKI

0567-24-8881

◆信長との関連、アピール点

抹茶を好んでいたこと、茶文化に精通していたことに着目して、お抹茶を使用したなめらかなプリンの表面をキャラメルにして、家紋をデコレーションしました。



◆製作、販売の苦心談など

京宇治抹茶を使用して、抹茶風味のバランス、プリンの食感(バランス)を作るのに、何度も試作して出来上がりました。

家紋のデコレーションを美しくするために、試行錯誤しました。

信長天王弁当

1500 円(税別)

(株)マエヤマフーズえちぜん

.0567-23-2208

◆信長との関連、アピール点

- ・ 1558 年、信長公が天王橋の上から津島天王祭をご覧になったと津島歴史年表に記されています。
- ・ 信長天王弁当は、その史実に基づいてお皿を水面に見立て、俵おにぎりを舟になぞらえて、信長公が遊覧される風情をイメージしています。
- ・ 地元産のもろこ、レンコン、野菜等をふんだんに取り入れて、料理を作成しています。

◆製作、販売の苦心談など

信長公のイメージをどのような形で料理に表現するかに頭を悩ませました。

信長生誕勝幡城 うつけ酒

渡辺酒造(株)

0567-28-4361

◆信長との関連、アピール点

織田信長が勝幡城で生まれたことを世にアピールするために、地元の酒蔵としてひと肌脱ぎました。「信長生誕勝幡城 うつけ酒」を呑みながら、戦国の時代に思いを馳せてください。

きっとあなたも、天下とりに挑戦できるかも。。



勝幡城うつけ武将隊

立松江里子

2014年に開催した信長生誕480年祭を機に、うつけ隊から新たに「勝幡城うつけ武将隊」として再出発しました。

4人の武将による演武を、うつけ太鼓 うつけ囃子と共に、地域のイベントで披露して、信長生誕勝幡城をPRしています。

皆様の応援よろしくお願ひします。

・織田信長

・木下藤吉郎



・池田恒興

・前田利家



※現在、武将&姫 募集中！！

◆勝幡城うつけ武将隊 HP

<http://shobatajyo-utsukebushoutai@jimdo.com/>

会の運営に携わってみませんか？

- ・イベントの企画や運営に興味がある方
 - ・会報の編集や発行に興味がある方
 - ・事務局で会の運営を支えてみたい方
- ご希望の方は事務局までご連絡下さい。

地元探訪／甲冑士山田さん訪問

事務局

愛知県下でも数人だけという甲冑士が清洲市においでになる情報を、当会会員の磯貝さんからいただいた。12月の勉強会の後で見学希望者を募り、16日と23日の2回に分けて甲冑士・山田正之さんを甲冑&ギャラリー カフェノア(火曜日定休、052-400-3817)に訪ねた。

ある寺に秘蔵されている本能寺で信長と運命を共にした「焼け兜」や、信長が陣で被った兜の精巧な再現品製作の話を知ったり、被せてもらったりして、当時の武将の気持ちを味わった。また、鎧の時代変遷等についても興味深いお話を伺うことができた。

地元探訪／聖徳寺、円空資料館

忍田浩章

齋藤道三が織田信長の力量を見抜き、強固な同盟関係を結ぶことになった両者の会見場所・一宮市富田の聖徳寺を見るために、会員有志4人で出かけました。県道わきの1.5間×3間ほどの狭い土地に、石碑と説明板があるだけです。信長公記に詳しいMさんは、「本当の場所はここではないんだよね～」と話していました。

その後、濃尾大橋を渡って岐阜県羽島市に行き、竹鼻別院、佐吉大仏、円空資料館を回遊してきました。ちょうど良い半日コースでした。



聖徳寺跡地の石碑

会務報告のページ

3 回の歴史よもやま話

平成 26 年 10 月 19 日(日)
勝幡防災コミュニティセンター

名古屋市在住の織田家直系という岩田守正氏をお招きし、「織田家の子孫」について興味ある話題を提供していただいた。

平成 26 年 12 月 7 日(日)
長福寺ホール

当会の前副理事長で、長福寺住職の鈴木師により、「牛頭山長福寺建立縁起、信長の指南役・平手政秀」についてお話を伺った。

広い窓からの庭の紅葉の眺めと、お話の前の読経には、心が洗われる思いがした。



長福寺ホールで勉強会

平成 27 年 3 月 15 日(日)
勝幡防災コミュニティセンター

当会会員の忍田浩章氏により、火縄銃以降の小火器の特徴の紹介を初めとして、おりしも発見された戦艦武蔵の大砲まで話が及んだ。

さらに、当会会員の服部みどり氏から、法人化前の当会創生期を振り返ったお話と、うつけ囃子の作詞・作曲、CD 制作にまつわるエピソードを話していただいた。

行事計画のページ

信長生誕祭 481 年を準備中！

今年は新たに、祖父江の森フラダンス教室によるフラダンス、清洲甲冑工房によるよろいの試着、演劇集団くつわによる津島無形文化財伊六万歳を加え、バラエティーに富んだ内容です。ぜひとも、ご観覧ください。

見に来てください。

手伝ってください。

準備と運営には多くの人手が必要です。部分的な時間で構いません。お手伝いしていただける方を募っています。

事務局 080-8265-2288

日時 平成 27 年 5 月 17 日(日)10～15 時 30 分
会場 愛西市立勝幡小学校体育館及びグラウンド
駐車場 勝幡駅南ピアゴ屋上駐車場

プログラム

- 1000 開会式
- 1015 うつけ隊演武、うつけ太鼓
- 1055 吹奏楽演奏／佐織西中学校
- 1140 津島無形文化財伊六万歳
／演劇集団くつわ
- 1200 フラダンス／祖父江の森フラダンス教室
- 1220～1320 お昼の休憩時間
小物作品展示とミニ教室
お絵かき展示会
よろい展示と試着／清洲甲冑工房
いなピー、あいさいさん、つし丸くと交歓
太鼓の体験
- 1320 お絵かき展表彰、信長生誕を育む会紹介
- 1330 勝幡城、信長モザイク画の解説
- 1400 落語／落語家・平々亭青馬
- 1420 講演「信長はこんな人物」
／小説家・服部徹
- 1530 閉会の挨拶

総会と懇親会

日時 平成 27 年 6 月 7 日(日)
13 時 30 分～16 時
場所 稲沢市役所平和支所講堂
議題 平成 26 年度事業報告、役員改選

総会は法令で決められた重要な会議です。総会の後に自由に意見交換できる懇親会を設けます。会員の皆様のご遺志を会の運営に反映させる貴重な機会ですので、ご出席をお願いします。

5 月下旬にあらためてご案内します。

◆以下の行事はこの会報記事が最終告知です。

7 月の見学会／信長公居館跡と岐阜城

日時 平成 27 年 7 月 26 日(日) 10 時 30 分～
集合場所 岐阜公園博物館前に 10 時 15 分集合
名鉄岐阜駅、JR 岐阜駅から岐阜バスに
乗車し、岐阜公園博物館前停留所下車
参加費 300 円 交通費、昼食代、入館料は個人
内容 信長公居館跡の発掘状況を学芸員の案内で見学。自由昼食後にロープウェイで金華山に登り、ガイドボランティアの案内で岐阜城を見学。
申込 7 月 19 日までに事務局に電話願います。

9 月の歴史よもやま話／信長公記ごぼれ話

日時 平成 27 年 9 月 6 日(日) 9 時 30 分～
場所 勝幡防災コミュニティセンター会議室
参加費 300 円
話題 本会員の宮田浩臣氏から信長公記の興味深い点を紹介していただきます。

10 月の見学会／桶狭間古戦場跡と有松

日時 平成 27 年 10 月 18 日(日)10 時～
集合場所 名鉄中京競馬場前駅改札 9 時 45 分
参加費 300 円 交通費、昼食代、入館料は個人
内容 豊明桶狭間古戦場、高德院をガイドボランティアの案内で見学。有松で自由昼食後にガイドボランティアの案内で街歩き。

提案と議論の広場

小グループ活動の提案募集

各地の史跡やお祭りの見学、講演会の聴講など、賛同される会員が連れ立って行けそうなテーマはありませんか？ ご提案ください。

当誌面 6 ページの記事がその実施例です。

会費納入のお願い

平成 27 年度の会費の納入を 7 月末まで
にお願いします。2 年間未納で音信のない
方は、退会として扱わせて頂きます。

金額、手続きは下記囲み記事の通りですが、各種イベントの際にも納入可能です。

会員になりませんか？

当会では常時、会員を募集しています。

正会員 年会費 1200 円

法人会員 年会費 12000 円

賛助会員(総会での議決権が不要な方)

年会費 3000 円(1 口当たり)

次のいずれかの方法でお申し込み下さい。

・手紙で事務局へ 〒496-8018

愛知県愛西市湊高町二ノ割 26-2

信長生誕を育む会事務局 水谷真人

・電話で事務局へ 080-8265-2288

編集後記

今回も発行が遅れたことをお詫びします。今回は町おこしについての課題と信長商品を紹介しました。いかがですか？

毎回特集記事を考えることは大変ですが、それ以上に半年間の行事予定を決めるのが難儀です。小グループ活動、勉強会、見学会などのご希望やご提案をお待ちしております。

(事務局長 水谷真人)